

平成28年3月期第2四半期 決算説明会

平成27年11月11日



OBAYASHI

大林組

免責事項

当資料に記述されている業績予想並びに将来予測は、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため実際の業績は、様々な要因の変化により、記述されている将来の見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。また、当資料は投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

平成28年3月期第2四半期 決算説明



時をつくる ところで創る

大林組

1 平成27年度第2四半期決算の概要 (前年同四半期実績比較)

- (1) 個別決算
- (2) 連結決算

決算短信の15ページ「ハイライト情報」の上段の表をご覧ください。

1 平成27年度第2四半期決算の概要 (前年同四半期実績比較)

(3) 個別受注

(4) 連結受注

決算短信の15ページ「ハイライト情報」の中段の表をご覧ください。

1 平成27年度第2四半期決算の概要 (前期実績比較)

(5) 有利子負債(個別・連結)

決算短信の15ページ「ハイライト情報」の下段の表をご覧ください。

2 平成27年度第2四半期決算 セグメント別内訳（前年同四半期実績比較）

(1) 個別売上高

(2) 個別売上総利益

決算短信の19ページ下段の表をご覧ください。

2 平成27年度第2四半期決算 セグメント別内訳（前年同四半期実績比較）

(3) 連結売上高

(4) 連結営業利益

決算短信の19ページ上段の表をご覧ください。

業績見通しについて (平成28年3月期)

時をつくる ころで創る



大林組

2015年度業績見通し(単体)

(単位：億円)

		2013年度		2014年度		2015年度				前年実績との差異 B - A	
		実績		実績 A		当初見通し 5月13日発表値		修正見通し 11月10日発表値 B			
工事売上高	建築	9,157		9,586		8,850		9,000		△586	
	土木	2,703		2,679		2,900		3,000		320	
	計	11,860		12,265		11,750		12,000		△265	
不動産事業等売上高		225		332		200		300		△32	
総売上高		12,086		12,598		11,950		12,300		△298	
工事総利益	建築	393	4.3%	421	4.4%	525	5.9%	735	8.2%	313	3.8%
	土木	167	6.2%	244	9.1%	265	9.1%	385	12.8%	140	3.7%
	計	560	4.7%	665	5.4%	790	6.7%	1,120	9.3%	454	3.9%
不動産事業等利益		47	21.2%	106	32.2%	55	27.5%	50	16.7%	△56	△15.5%
売上総利益		608	5.0%	772	6.1%	845	7.1%	1,170	9.5%	397	3.4%
販管費及び一般管理費		581	4.8%	582	4.6%	595	5.0%	610	5.0%	27	0.3%
営業利益		27	0.2%	189	1.5%	250	2.1%	560	4.6%	370	3.0%
経常利益		113	0.9%	311	2.5%	320	2.7%	630	5.1%	318	2.6%
当期純利益		76	0.6%	129	1.0%	185	1.5%	400	3.3%	270	2.2%

2015年度業績見通し(連結)

(単位：億円)

		2013年度 実績	2014年度 実績 A	2015年度		前年実績 との差異 B - A
				当初見通し 5月13日発表値	修正見通し 11月10日発表値 B	
売上高	連結	16,127	17,739	17,770	18,000	260
	単体	12,086	12,598	11,950	12,300	△298
建設事業売上高		15,210	16,730	16,880	17,190	459
国内		80%	76%	73%	75%	—
海外		20%	24%	27%	25%	—
開発事業		516	638	490	470	△168
新領域事業		400	370	225	230	△30
その他				105	110	
営業利益 (営業利益率)	連結	319 (2.0%)	483 (2.7%)	500 (2.8%)	800 (4.4%)	316
	単体	27 (0.2%)	189 (1.5%)	250 (2.1%)	560 (4.6%)	370
国内建設		52%	58%	69%	84%	—
国内建設以外 (海外建設、開発、新規事業)		48%	42%	31%	16%	—
経常利益		401	599	560	850	250
当期純利益		216	286	300	500	213
ROE		5.4%	6.2%	5.8% ※	9.5% ※	—

※2015年度ROEは参考値：2015年度末自己資本は前年度末自己資本に配当後剰余金のみ加算して算出

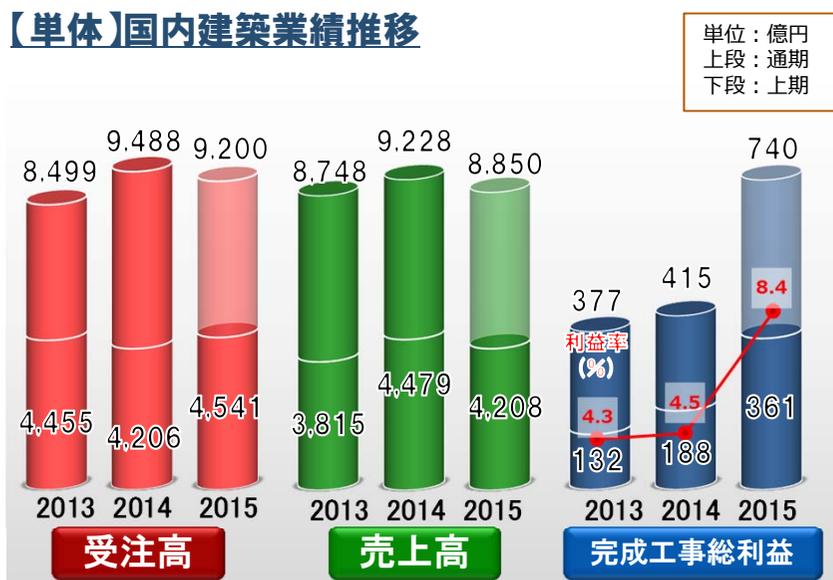
分野別の取り組み

中期経営計画 2015

国内建設事業

【建築】良好な受注環境の持続、建設物価上昇の鈍化により工事利益率が大幅に改善
 【土木】官公庁を中心に設計変更等による追加請負金獲得に伴い、工事利益が底上げ
 ◇引き続き、**生産力を考慮**し、採算性を重視した受注活動を展開

【単体】国内建築業績推移



【単体】国内土木業績推移



海外建設事業

◇建設事業に占める海外売上高比率**25%**に

- 一 昨年度子会社化した米クレマー社の売上寄与など
海外売上高は順調に拡大

(単位：億円)

【連結】海外建設事業	2013実績	2014実績	2015見通し
受注高	3,603 (23%)	4,092 (23%)	4,100 (24%)
売上高	2,975 (20%)	3,935 (24%)	4,340 (25%)

(%は建設事業に占める比率)

分野別取り組み

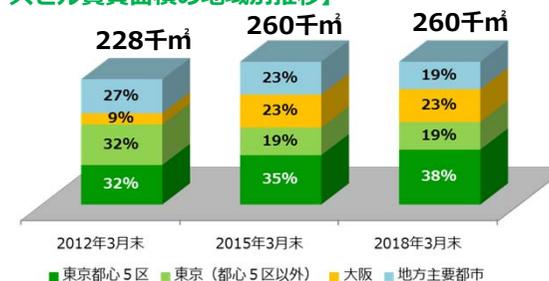
中期経営計画 2015

■ 開発事業 - 賃貸事業の多様化、国内オフィス賃貸事業の更なるバリューアップ

◇ 保有不動産の「収益性向上」と「競争力強化」を実現

- 東京都心部における新規投資の推進
浜松町2丁目B街区(日本生命との共同事業)で、オフィスビル建設に着手
(建物延べ床面積約10万㎡)
- 既存ビルのリニューアル・BCP対応の実施
- 住宅・物流施設への新規投資による賃貸事業ポートフォリオの多様化

【オフィスビル賃貸面積の地域別推移】

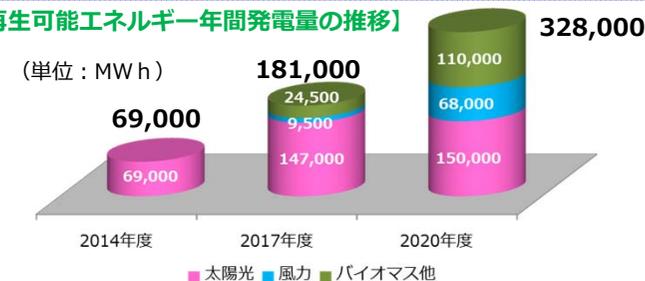


■ 新領域事業 - 新たな再生可能エネルギー発電事業を中心とする新領域事業の拡充

◇ 収益基盤の多様化に向けて各事業の着実な進捗

- 木質バイオマス発電事業に参入(山梨県大月市)
2017年度運転開始予定、発電容量14MW、売上高約20億円
- 太陽光発電2015年上半期運転開始12.1MW 累計発電容量83.2MW
(栃木県那須塩原市4.6MW、鹿児島県大崎町5.3MWほか)

【再生可能エネルギー年間発電量の推移】

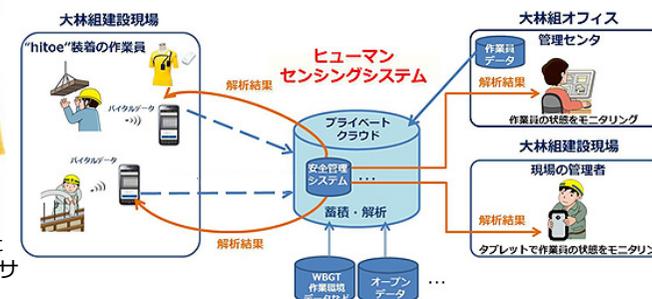


■ 技術開発 - 社会的課題や顧客ニーズに応える「技術のイノベーション」

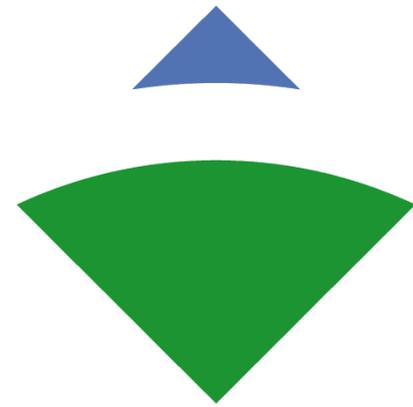
- ◇ 現場の**安全性向上**に向け、機能素材“hitoe”※とクラウドを活用した安全管理システムの実証
- ◇ 技術研究所でスマートエネルギーシステムの運用開始
本館テクノステーションで**ZEBを達成**
- ◇ 宇宙エレベーター構想の実現に向けて
国際宇宙ステーション「きぼう」で宇宙実験を開始
先端材料「カーボンナノチューブ」の幅広い可能性を検証



“hitoe”を活用したウェアラブルセンサ



※NTTと東レが開発した着衣するだけで心拍数や心電位を取得できる機能素材。両社の登録商標



OBAYASHI